

第1分科会(IT技術を用いたエネルギー管理) 討議報告

分科会概要

スマートシティ情報統合管理基盤の概要説明および実演、スマートシティの事例紹介、地図情報の活用、質疑応答等

発表者

- ・ アイ・エム・サービス(株) 大山 肇 氏 (司会)
- ・ アイ・エム・サービス(株) 高橋 哲也 氏
- ・ 日本アイ・ビー・エム(株) 上田 達郎 氏
- ・ 伊藤忠商事(株) 中松 由佳 氏
- ・ ESRIジャパン(株) 気賀沢 千代 氏
- ・ 秋田市環境部環境総務課 池端 強志 氏 合計6名

主な参加者

情報通信機器、空間情報関連事業者等 計31名

討議内容

- ・ スマートシティ情報統合管理基盤の概要およびシステム全般について
- ・ スマートな都市を目指して ～ 世界における取組事例、スーパーコンピューターによるデータ解析など
- ・ 伊藤忠商事のスマートシティの取組み
- ・ 地図情報の活用事例
- ・ あきたスマートシティ・プロジェクトへの地元企業の参画について
- ・ (会場より)情報統合管理基盤の効果、災害時における地図情報の活用方法について質疑。

総括

司会者より、IT技術を用い、秋田の地域特性に合わせたスマートシティを目指すため、地元企業等との連携も進めてまいりたいなどの総括があった。

第2分科会(地産エネルギー) 討議報告

分科会概要

ペレットボイラーの導入事例紹介、導入方法の説明 費用対効果 等

発表者

- ・国立大学法人秋田大学 西川 竜二 准教授 (司会)
- ・(株)森のエネルギー研究所 菅野 明芳 氏
- ・秋田県信用組合 北林 貞夫 氏
- ・秋田市環境部環境総務課 三浦 勉 氏 合計4名

主な参加者

林業関係業者、ボイラー製造業者等、計 35 名

討議内容

- ・ 菅野氏より、ランニングコストおよび国の補助制度について説明があった。
- ・ 北林氏より、ボイラーを導入した背景、効果、灰処理等について事例紹介があった。
- ・ 三浦氏より、需要拡大に向けた行政の取組について説明があった。
- ・ 北秋容器 後藤氏、秋田木質ペレット普及促進協議会 瀬戸口氏、石井氏からペレット導入による雇用効果、間伐材の有効活用、地産地消について説明があった。

総括

司会者より、省エネ+快適には木質バイオマスが合理的であり、今後は、成功事例のモデルケースをつくることにより、供給と需要をセットで創出していくことが望まれるという総括があった。

第3分科会(地域ESCO事業) 討議報告

分科会概要

地域ESCO事業の導入事例紹介、今後の取組紹介 質疑応答 等

発表者

- ・ジョンソンコントロールズ(株) 小玉 尚文 氏 (司会)
- ・ジョンソンコントロールズ(株) 歳弘 浩三 氏
- ・ESCO推進協議会 斎藤 央 氏
- ・(財)省エネルギーセンター 鈴木 新右エ門 氏
- ・芙蓉総合リース(株) 笠島 英樹 氏
- ・秋田市環境部環境総務課 細井 康広 氏 合計6名

主な参加者

参加者 16名(電気・機械関係)

討議内容

- ・秋田市のESCO事業および秋田県のESCO事業、秋田市で実施した小規模ESCO事業の紹介。
- ・秋田市がESCO事業を実施した経緯および今後の取組についての紹介。
- ・ESCO事業におけるリース会社の役割について。
- ・ESCO事業の実施件数が伸び悩んでいる理由について。
- ・地元事業者がESCO事業に取り組むためには。
- ・(会場より)ESCO事業の将来性、2回目のESCO事業の可能性等の質疑。

総括

秋田市としては、今後もESCO事業を継続し、民間にも広げていきたいと考えている。